



大明小学校

校長室から

令和元年9月13日

No. 27

文責 校長 飯久保一男

文字によるコミュニケーション

1学期末に「子どもたちの携帯電話・スマホ利用に対するお願い」という文書を配付しました。
1学期末の子どもたちへのアンケートでは、携帯電話をもっている子が50%を超えていました。
その中で、家の人と携帯電話を使うときの **ルールを決めていないという子が50%** 以上いました。

研修会で、若い世代の中には、職場の電話に出られない人がいるという話を聞きました。携帯電話などでは、登録してあれば、電話に出る前に誰からの電話かわかりますが、職場の固定電話では誰かの電話かわかりません。誰かわからない相手と電話をしたことがない、初めて話す相手とどう対応していいのかわからない…、とのことで職場の電話には出たくないということが理由のようです。固定電話がない家庭も増えてきています。電話をするというコミュニケーションのあり方が変わってきています。



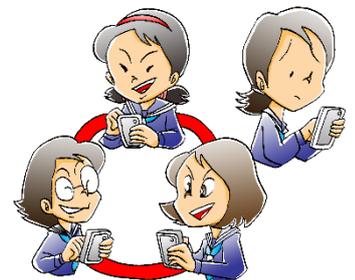
私が指導しているミニバスチームでは、招待大会や練習試合（宿泊がなく、日帰りで行ける場合）の誘いがあった場合、私の判断で参加・不参加を決めさせてもらっています。参加を決めた場合は、私からチームの保護者に日時や会場などを一斉にメール送信しています。土日を使って行われるので、なるべく早く予定に入れてもらうためです。メールのいいところは、送信した相手が都合のいいときに見ることができることです。急ぎでない場合の連絡に適しています。日時などを文字

で伝えるために正確に伝わります。私は、これらの連絡のためにメールを使っているのですが、ときどき、保護者から私への相談がメールで送信されてくることがあります。次回、練習に行ったときに対面で話せばいいことなのに…。中には、チームを辞めるなどという強烈なメールが来ることもあります。メールでやり取りしていたのではなかなか話が進みませんので、電話をほしいとメールをします。でも電話が来ません。待ってられないので、こちらから電話をします。でも相手が出ません。仕方がなく、メールで返信します。すると…、膨大な量のメールがドーンと送られてきます。つまり、その保護者は私との直接の会話よりも、文字によるコミュニケーションを求めていたのです。こういう場合、かなり一方的な文章がほとんどです…。

若い世代に限らず、今、顔を見て話をするのは苦手、電話で会話をするのも苦手、メールやラインなどでは言いたいことを伝えられるという人が増えているようです。近くにいるのだから話せばいいのに、わざわざラインで会話をしているようなこともあるそうです。ある意味ナイショ話でしょうか…。SNSの影響で、コミュニケーションの方法が変わってきているのです。

相手と話さずに文字でコミュニケーションをすることはトラブルも伴います。PTA総会で話した内容をもう一度掲載しますが、SNSなどのやり取りがトラブルに発展した例です。

その1 みんなで出かけることになり、それを聞いたAが「私も行っていい？」と他のメンバーに送信したところ、Bから「何で来るの」と返信があり、トラブル（仲間外れ・いじめ）に発展しました。Bは「交通手段は何を使ってくるの？」と送信したのですが、Aは「何であんたが来るのよ！」と受け取ったのです。



その2 CがDの誕生日にぬいぐるみをプレゼントしました。喜んだDは、そのぬいぐるみの写真を載せて「このぬいぐるみ、かわいくない」と友達に送信しました。若い女の子などが使う「～ない」という言葉は「かわいくない」と疑問文風にイントネーションを変えることで、「かわいいよね」という意味をもちます。Dはもらったぬいぐるみを「かわいい」という意味でこの言葉を書き添えたのですが、Cは文字通り「かわいくない」と受け取り、自分が贈ったプレゼントをかわいくないと言いふらしていると受け取ってしまい、トラブル（仲間外れ・いじめ）に発展しました。

その1・その2ともに、直接話をしていれば、トラブルに発展していなかった内容です。文字によるコミュニケーションであるがために、起きてしまったトラブルです。

<日本医師会ポスター>



インターネットの掲示板などを見ると、匿名やハンドルネームなどの場合、過激な文になっていたり、相手を誹謗・中傷するものになっていたり書きたい放題のものがあります。顔を合わせて話をするのであれば、そんなに過激なことにはならないはずですが。

大人でもそうなのですから、子どもたちにとっても、直接相手の顔を見ないで、声を聞かないで、文字でコミュニケーションをすることは、相手に対して過激な言葉をつかってしまう理由になるようです。また、前述のトラブルのように、別の意味で伝わってしまうこともあり、心配な面があります。メールやラインなどを子どもたちがする場合、大人のいるところとするなどの約束づくりをお願いします。

ゲーム機でも、オンラインでゲームをするようなものは会話機能がついている場合がありますので、同じことが心配されます。

その他にも、ラインをしていて相手との会話が終われないこと、オンラインの対戦型のゲームをしていて相手がいるのでなかなか終われないことなどによる睡眠不足で日常生活に支障が出たり、他人の名を語って掲示板などに投稿してトラブルになったり、脅迫じみたことをしてしまったり…、など心配なことはたくさんあります。

便利なものですので使うことはやぶさかではありませんが、携帯・スマホ、特にSNSを使うにはルールがあります。ともすると今回書いたようなトラブルや仲間外れ・いじめにつながる場合があります。さらには、言葉巧みにだまされて、高額な金額を要求されたり、事件に巻き込まれたりすることなども身近にあり得る話なのです。親として心がけてほしいことは、まず、持たせる必要があるのかを慎重に考えること、持たせるのであれば、正しい使い方を教え、そして、約束づくりをすることです。これは最低条件です。

全く話は変わりますが、こんな文章を見つけました。不思議です。



こんにちは みさなん おんげき ですか？ わしたは げんき です。
 この ぶんしょう は イリギス の ケブンツリジ だがいく の けゆきんう の けっか
 にんんげ は もじ を にしんき する とき その さしいよ と さいご の もさじえ あいてつれば
 じばんゆん は めくちちゃ ども ちんちゃ と よめる という けゆきんう に もづいとて
 わざと もじの じんばゆん を いかれえて あまりす。
 どでうす？ ちんちゃ と よやちめう でしょ？